

地方独立行政法人山口県産業技術センター評価委員会（第41回）の審議要旨

- 1 日 時 令和7年8月8日（金）10:00～10:45
- 2 場 所 山口県産業技術センター 多目的ホール
- 3 出席者 山田委員長、岡藤委員、山崎委員、山下委員、吉村委員
(委員長以外50音順)

I 報告事項

前回評価委員会の審議要旨について
→ 資料1により、事務局から説明
《各委員了承》

II 審議事項

令和6年度における業務の実績に関する評価について
→ 資料2により、事務局から説明

《資料説明後、質疑応答・意見交換》 ●委員
令和6年度における業務の実績に関する評価について

<PRについて>

- センターには、地域企業のニーズを汲み上げる相談窓口としての役割があると思うが、相談に躊躇して、たどり着いてない企業もいると思う。そういった企業と今後つながっていけると、中期計画はさらに充実したものになる。
- 素晴らしい技術支援機関があっても、知られていなければそれはないのと一緒にである。わかりやすくPRを行い、必要とする企業の隅々にまで支援の手を広げて欲しい。
- 技術者研修をはじめとした各種研修を通じた取組が、県内企業に対するセンターの認知度を高めていく有用な手段になると思う。

<自己評価について>

- 数値目標が設定されていない項目は、ほとんどが評点「3」となっている。今後について、十分な取組を行っている判断できる項目は、より適切に評価してもよいように感じた

<基礎研究等について>

- 中小企業では、お金がかかり、成果の上がりにくい基礎研究がないがしろにされている感じがあるが、センターでは基礎研究にも力を入れている。これは大事なことなので、この方向で続けて欲しい。また、DX等新しい技術分野について、セミナーなどで学ぶ機会を今後も作って欲しい。

III 審議結果

評価書素案に対して特段修正を求めず、「原案のとおりとすることが適当」として知事に意見書を提出することとする。 《各委員了承》